

# はにい

## つくってあそぼう

平成26年12月19日



「レースにしますか、家族ごっこにしますか」  
「レースがやりたいな」  
「では、ここに顔を描いて、裏側には名前を書いてください」

お店やさんがくれた紙を折って顔を描けばランナーの出来上がり。手作りの専用コースで走らせます。「ここを手でたたいてね」

「あ、動いた」

コースの脇を叩くとその振動でランナーが走り出す仕組み。

さて、こちらのお店では相撲で勝負。

「この中から力士を選んでください」

箱の中には大中小の力士がずらり。行司さんが呼び出しをして相撲が始まります。手を使ったら反則、力士を動かすのは息です。

これは生活科の授業。自分たちで考えた遊びでお店を出しています。

材料は紙。車、力士、飛行機、カエル、・・・いろいろな紙のおもちゃのお店があります。まるめたり、折ってバネのようにしたり。図工で学んだことが生きてきます。

「紙を巻いてから伸ばして、手を放してから長く丸まった方が勝ちだよ」

遊び方もオリジナルなので、やり方をていねいに説明しないとお客さんに伝わりません。これは国語で学んだ力。ルールをわかりやすく書いたり、絵で示したり。

得点の計算は算数の力。「ポイントがどんどんたまる」「あれ、マイナス10点だ」

みんなが楽しめるように、話し合ってルールを変えることもあります。これは道徳で学んだ協力や思いやりを生かす場面です。



『はにい』はコミュニケーションツールです。みんなで語り合しましょう。  
ご意見・ご感想は → [inochi4027@pref.kanagawa.jp](mailto:inochi4027@pref.kanagawa.jp)